



三浦主幹「休館せず工事をできたことは大きい」

三浦主幹  
今回の導入に関して

既存照明の照度・配光が同等以上で品質保証と実績があり、導入費用と節電効果との比較検討および現地調査を行い、いろいろなLED灯具を選考する中で、我々が提案した既存取り付け部の負荷重量、安全性



ロビースペース



防塵・防水耐塩仕様 (320W) のLED照明に置き換えた温水プール



480WのLED照明に置き換えた競技室



LED照明を試験導入した「札幌市清田区体育館温水プール」

【(一財)さっぽろ健康スポーツ財団DATA】

設立：1984年4月

所在地：〒064-0931 北海道札幌市中央区中島公園1番5号 札幌市中島体育センター内

電話番号：011-530-5550

★同財団は、市民の健康とスポーツをさまざまな場面からサポートすることを目標としている。

# PICK UP 注目の話題

## LED照明を試験導入 管理・運営者の視点から見たLED照明



三浦理事長「実際にLED化を見学してほしい」

三浦理事長  
LEDを導入した経緯

直接的な動機として、北海道電力(以下、北電)による電気代値上げが大きい。現在、札幌市の施設は1400カ所あり、年間約104億円の電気代を支払っている。これ

が北電の値上げとなると、年間約12億円、11%が札幌市の負担増になる。本・区庁舎だけでも3億円上がってしまう。私どもの施設では現在30カ所、2億6000万円の電気代を支払っているが、北電が値上げをすると約3000万円も負担が増えてしまう。LED導入はイニシャルコストこそかかるが、4~5年くらいでその分を回収することができる。また、運動競技をする大型施設にフィットするLED照明の流通が少ない中、今回導入した製品(2013年9月号参照)に出会えたことで「導入しよう」という決断をした。

市民還元と今後について

当財団は札幌市の仕事をしているので、市民還元を求められている。これまで4年間の指定管理期間でおよそ1億円の還元をしてきた。例えば、アメニティ施設(トイレの洋式化やプールの塩素発生機)などで札幌市に代わって計画的に市民還元してきた。今回のLED導入も市民還元の一環ととらえている。

今回のLED導入では約2500万円のイニシャルコストをかけたが、4~5年で取り返せる。この後は特にプール施設について平岸プール以外の5施設(白石温水プール、手稲温水プール、東温水プール、豊平公園温水プール、厚別温水プール)をLED照明に変更する。札幌市と約束しているので4年の間になんとしても実現したい。

導入した施設は大きなプールもあり、体育館やトレーニングルームもある。LED導入を検討している自治体等があれば、実



河井ディレクター「瞬間点灯は大変ありがたい」

河井ディレクター  
管理者の立場から

私は体育館、プールの勤務経験が10年くらいあり、お客様と直接やり取りし、施設を管理運営する立場にいた。体育館勤務時代に北電の送電線が強風で揺れ、瞬時に電気が落ちてしまう。瞬停があった。そうすると、水銀灯などは一回冷えて温まるまで20分くらいかかり、しばらく点灯しない。瞬停が起きた時、サークル利用や卓球・バドミントンなどで個人利用されている方がいたのだが、照明がなかなか点灯しないため、利用料をお返すということが何回

際に見に来ていただきたい。そして、今回の導入をきっかけに、全国的に広がってこればいいと考えている。